



# 全国公共図書館協議会 設立 50 周年記念誌

令和 3 年 3 月  
全国公共図書館協議会



# 全国公共図書館協議会 設立 50 周年記念誌

全国公共図書館協議会



# ご挨拶

全国公共図書館協議会

会長 松川 桂子

全国公共図書館協議会は、「全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図る」ことを目的に掲げ、1970（昭和45）年に発足し、2020（令和2）年6月をもちまして設立50周年を迎えました。これまで公共図書館の発展のために尽力してこられた先人に対し、敬意を表するとともに、皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

当協議会が設立した当時、日本図書館協会が『市民の図書館』を刊行され、中小図書館の指針を示されるなど、日本の公共図書館は発展期の只中にありました。当協議会は、そうした機運の中、図書館の管理運営の面から図書館行財政を確立すべく、全国の公立図書館の連合体として、発足いたしました。その後の教育改革や高度情報化社会への対応、多様化する図書館の運営形態といった時代の変化に合わせ、調査研究事業や国への要望活動など、公共図書館の発展に向けて様々な活動を行ってまいりました。これまでの活動の一つの区切りとして、また記録として後世に残していくため、この度、『全国公共図書館協議会設立50周年記念誌』を発行する運びとなりました。

現在、図書館は、デジタル化の進展やAI時代の到来、加速する少子高齢化など、様々な課題に直面しています。また、直近では多くの図書館が休館を余儀なくされた新型コロナウイルス感染症の世界的な流行や、著作権法の改正など多様な動きもあり、新しい図書館のあり方が問われています。当協議会は、今後も広く関係の皆様のご指導を賜りながら、会員の皆様と力を合わせ、公共図書館の更なる発展に寄与してまいります。

最後に、本記念誌の発行に際しまして、ご尽力、ご協力いただきました関係各位、ご祝辞やご寄稿を賜りました皆様方に厚く御礼申し上げまして、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

2021（令和3）年3月

# 全国公共図書館協議会設立 50 周年に寄せて

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長

横井 理夫

このたび、全国公共図書館協議会が設立 50 周年という大きな節目を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。また、全国公共図書館協議会におかれましては、全国の公共図書館の発展を図るため、図書館に関する調査研究を実施されるなど日頃から御熱心な活動を行っていることに対し、深く敬意を表します。

今日、我が国を取り巻く環境は、「人生 100 年時代」や「Society5.0」の到来など、社会の激しい変革の中にあります。先を見通すことの難しい時代において、多様で複雑化する課題と向き合いながら、一人ひとりが豊かな人生を送ることができる持続可能な社会をつくるには、全ての人が生涯にわたって主体的に学び続けることのできる環境が一層重要となります。

そのような社会であるからこそ、公共図書館が地域の「情報拠点」、「知をはぐくむ拠点」としての役割を果たすことや地域活性化・まちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されております。住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は、人々の生活様式や社会の在り方を大きく転換する契機となりました。全国公共図書館協議会の会員の皆様におかれましては、多くの地域住民が集まることから安全を確保しながら、読書活動の推進をはじめとした図書館サービスの一層の充実に努めていただくとともに、地域の社会教育の重要な担い手として、関係機関との連携・協力について積極的な取組をお願いいたします。

文部科学省といたしましては、図書館法の趣旨を踏まえ、公共図書館の一層の整備充実に向け、施策の推進に努めてまいります。

結びに、全国公共図書館協議会のますますの御発展並びに会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 全国公共図書館協議会設立 50 周年を祝して

国立国会図書館長

吉永 元信

全国公共図書館協議会の設立 50 周年、誠におめでとうございます。

貴協議会が、1970 年の設立以来、全国の公共図書館の発展のため御尽力されていることに衷心より敬意を表します。

また貴協議会及び会員各機関の皆様、日ごろ、国立国会図書館の実施する様々な事業に対して御協力と御支援を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

この 50 年には図書館を取り巻く社会環境も大きく変化いたしました。情報技術の急速な発展に伴い、図書館の扱う資料・情報の多様化とデジタル化が進みました。当館も時代のニーズに即したサービスを展開すべく所蔵資料のデジタル化に努力しております。当館が主催する「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」には、2011 年より貴協議会に全国の公共図書館を代表して御参加いただいておりますが、引き続き御協力をお願いしたいと存じます。

また、当館が図書館向けに行っている事業の中で、2002 年に開始したレファレンス協同データベース事業には、公共図書館の皆様に多大な御協力をいただいております。2021 年 1 月現在、参加館 852 館のうち半数以上の 499 館が公共図書館であり、データ登録数の 70% を公共図書館から御登録いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

奇しくも貴協議会が 50 周年を迎えられた 2020 年に、新型コロナウイルス感染症の危機が世界を襲いました。「新しい日常」の中で、図書館も今までの在り方を見直すべき時を迎えております。

今後も国立国会図書館は貴協議会と会員である公共図書館の皆様と手を携え、図書館サービスの在るべき姿を見据えて、共に前進してまいりたいと存じます。最後になりますが、全国公共図書館協議会と会員の皆様の一層の御発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 50周年を祝して

公益社団法人 日本図書館協会

理事長 小田 光宏

全国公共図書館協議会設立 50 周年、おめでとうございます。

貴協議会は、日本の公共図書館の発展期と位置付けられる 1970（昭和 45）年に創設されました。日本図書館協会が『市民の図書館』を刊行し、公共図書館の当時の重点目標を示した年でもあり、図書館界の熱い想いを背景にしていると思われまふ。その後、今日に至る半世紀の道のりは、規約第 4 条に目的として謳われている「全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図る」に沿った、極めて貴重な取組の連続であったと拝察いたします。貴協議会が、加盟館への熱く厚い支援を続けてきたからこそ、それぞれの公共図書館は、利用するすべての人々に、豊かなサービスを提供できたと確信しています。

なかでも、取り組む事業の筆頭に挙げられている「公共図書館に関する行政、財政及び事業の調査研究」は、各図書館が活動を点検し、また、展開するための拠り所になってきました。成果として著された報告書、すなわち、初期の『読書普及活動研究集会報告書』、その後様々なテーマのもとに行われた実態調査とその分析結果を記す「研究調査報告書」は、公共図書館界の貴重な財産であると言えます。日本図書館協会においても、先年、図書館調査事業委員会のもとに、「課題調査委員会」と称する小委員会を設けました。社会の変化に伴い必要とされる特定の課題について、調査の企画及び立案、集計及び分析を行うことを主な任務とするこの委員会の模範は、貴協議会の調査研究事業にほかなりません。これだけの長い年月にわたり続けられてきた調査研究の営みは、国外の例と比べても遜色ないものと思われまふ。

次の半世紀においても、貴協議会ならびに加盟されている各図書館が、益々ご発展されますよう、心から、お祈り申し上げます。





# 目次

|   |                            |     |
|---|----------------------------|-----|
| ◆ ご挨拶                                   | 全国公共図書館協議会会長 松川 桂子         | i   |
| ◆ 祝辞                                    |                            |     |
| ◇ 全国公共図書館協議会設立 50 周年に寄せて                | 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長 横井 理夫 | ii  |
| ◇ 全国公共図書館協議会設立 50 周年を祝して                | 国立国会図書館長 吉永 元信             | iii |
| ◇ 50 周年を祝して                             | 公益社団法人 日本図書館協会理事長 小田 光宏    | iv  |
| ◆ 本編                                    |                            |     |
| Ⅰ. 全国公共図書館協議会の 50 年                     |                            |     |
| 1 全国公共図書館協議会設立の経緯                       |                            | 3   |
| 2 全国公共図書館協議会 年表                         |                            | 4   |
| Ⅱ. 全国公共図書館協議会における調査研究事業                 |                            |     |
| 1 調査研究事業の歩み                             |                            | 25  |
| 2 コラム                                   |                            | 28  |
| ◇ 「全国公共図書館協議会と私」 葉袋 秀樹                  |                            |     |
| ◇ 「私にとっての全公図」 糸賀 雅児                     |                            |     |
| ◇ 「図書館政策のエビデンスに」 根本 彰                   |                            |     |
| ◇ 「エビデンスを探し求めて」 小田 光宏                   |                            |     |
| ◇ 「公立図書館における評価」 岸田 和明                   |                            |     |
| ◇ 「図書館に迫る危機、どう回避するか」 中沢 孝之              |                            |     |
| ◇ 「学び多い『助言者』」 松本 直樹                     |                            |     |
| ◇ 「調査研究事業『公立図書館における蔵書構成・管理』に関わって」 伊藤 民雄 |                            |     |
| Ⅲ. 全国公共図書館協議会 刊行物一覧                     |                            | 33  |
| Ⅳ. 全国公共図書館協議会 研究集会等テーマ一覧                |                            | 39  |
| Ⅴ. 全国公共図書館協議会 歴代役員名簿                    |                            | 49  |
| ◆ 資料編                                   |                            |     |
| 1 『全国公立図書館長協議会会報』                       |                            | 73  |
| 2 『全国公共図書館協議会会報』                        |                            | 111 |
| 3 『ニューズレター』(No.1~42)                    |                            | 189 |
| 4 要望書等                                  |                            | 249 |
| ◆ 全国調整委員会委員・50 周年記念誌編集委員会委員名簿           |                            | 294 |